

数学科（ 数学 I ） 学習指導案					
日 時	平成30年 6 月 7 日（木） 第 2 限目		指 導 者	石井 稚子	
学 級	普通科 1 年 3 組		教 室	4 3 2 教室	
単 元	第 1 章 数と式 第 3 節 1 次不等式	教 科 書	改訂版 新編 数学 I（数研出版）		
指 導 目 標	1 絶対値について、基本的な概念を理解させ、解を求めることができるようにさせる。 2 場合分けをして絶対値記号を外すことができるようにさせる。	指 導 計 画	1 式の計算 7 時間 2 実数 5 時間 3 1 次不等式 6 時間 (本時はその 6 時間目)		
本時の主題	絶対値を含む方程式・不等式				
前時の課題	課題プリントを解いておく。				
本時の目標	1 絶対値を含む方程式・不等式を解くことができるようにさせる。 2 場合分けをして絶対値記号を外して解き、その解が前提条件に含まれていることを確認させる。				
指 導 過 程	学 習 活 動	時間 (分)	指導上の留意点	評価規準・方法、資料等	
	導 入	前時の課題を確認する。	15	・公式を用いて解く方法と、場合分けをして解く方法の 2 通りの解法を確認する。	○課題プリント
	展 開	(1) 各自で考える。 (2) ペアを作り、考えを確認する。 (3) 解説を確認する。 2 問題を解く。 (1) 各自で解く。 (2) ペアを作り、考えを確認する。 (3) 答え合わせをする。	20 10	・これまでの考え方を利用して解くことができないか考えさせる。 ・ペアで話し合いをするときには、自身の考えが相手に伝わるように表現させる。 ・場合分けをして求めた解がその前提条件を満たすかどうかを確認させる。 ・先の問題を参考して解いていく。解が場合分けをした前提条件に含まれていることを確認させる。	【評価規準】 ・考えを深め、問題を解決しようとしているか。 < 関心・意欲・態度 > 【評価方法】 ・机間指導により、ノート、取り組む姿勢などを確認する。 ○問題プリント 【評価規準】 ・絶対値記号のはずし方を理解できているか。 < 数学的な技能 > 【評価方法】 ・プリントやノートの解答を確認する。
	整 理	本時のまとめをする。	5		
	備 考	普通科 生徒数 34 名（男子 21 名、女子 13 名）			